

水稲用中・後期除草剤

# トドメバズMF<sup>®</sup>

## 液剤

適用拡大

散布適期

ホタルイ  
花茎40cmまで

希釈水量  
(直播水稲)

70~100ℓ/10a

枯らそうぜ、水田雑草。

メタミホップ配合



高葉齢のノビエに!

5ℓも  
あります



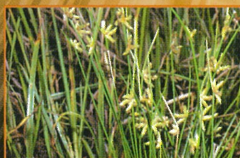
500ml



5ℓ



ノビエ



ホタルイ



コナギ



クログワイ



オモダカ



ウリカワ



アゼガヤ



コウキヤガラ



セリ



キシウスズメノビエ



科研製薬株式会社

®は科研製薬(株)の登録商標



高葉齢のノビエに!

水稲用中・後期除草剤

# トドメバスマF<sup>®</sup>

## 液剤

特長

- 1 高葉齢のノビエに卓効のメタミホップと、広葉雑草に効果の高いベンタゾン配合した茎葉処理除草剤です。
- 2 生育の進んだ各種雑草に対して高い効果が期待できます。
- 3 除草効果の発現が早く、枯れ上がりに優れます。
- 4 残ってしまった各種雑草に対してのレスキュー剤です。

農林水産省登録 第24369号 有効成分:ベンタゾン……18.3% メタミホップ……1.2%  
 人畜毒性:普通物※ ※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

### ■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稲	一年生及び多年生雑草	移植後15日～ノビエ6葉期 但し、収穫50日前まで	1000mℓ/ 10a	70～100ℓ/ 10a	2回以内	落水散布 又は ごく浅く 湛水して散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ	は種後10日～ノビエ6葉期 但し、収穫50日前まで				乾田・落水状態で 雑草茎葉散布 又は 全面散布

ベンタゾンを含む 農薬の総使用回数	2回以内	メタミホップを含む 農薬の総使用回数	3回以内
----------------------	------	-----------------------	------

### ■各種雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	6葉期まで
ホタルイ	花茎40cmまで
ヘラオモダカ ウリカワ	6葉期まで
ミズガヤツリ	8葉期まで
オモダカ	矢じり葉3葉期まで
クログワイ	草丈20cmまで
コウキヤガラ	草丈30cmまで
アゼガヤ	草丈60cmまで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	増殖期まで
キシウスズメノヒエ	再生茎6葉期まで
シズイ	草丈5cmまで
エゾノサヤカグサ	4葉期まで

雑草が上記葉齢を超えない時期に散布して下さい。

#### ⚠効果・薬害等の注意

- 散布液は所定の濃度に調製し、使いきる。
- 薬害の恐れがあるので、展着剤は加用しない。
- 散布する前に落水状態にして水の出入りを止め、まきむらのないように均一に散布する。また、水を落とすことができない所では、漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態(雑草が水面上に出る状態)にして、まきむらのないよう均一に散布する。
- 散布後少なくとも3日間(浅水処理は5日間)はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしない。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしない。
- 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用する。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ防除は、必要に応じて有効な前処理剤との組み合わせで使用。
- 重複散布は薬害のおそれがあるのでさける。
- 高温条件下では、薬害が生じやすいので異常高温下での散布はさける。
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるためには種後10日以降に使用する。
- 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはていねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除く。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行う。

- 以下の水田では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
  - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
  - 2) 軟弱徒長苗を移植した水田
  - 3) 極端な浅植や深植をした水田
- 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意する。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 乾田直播水稲に使用する場合は、以下の点に特に注意する。
  - 1) 重複散布を避けること。
  - 2) 軟弱徒長苗での使用は避けること。
  - 3) 高温期または高温が予想されるときは使用を避ける。
- 乾燥が続いた条件では除草効果が低下する場合がありますので注意。特に乾田直播水稲に使用する場合は注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。  
 ●空き容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。

この資料は2022年3月17日現在の登録内容に基づいたものです。



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号

https://www.kaken.co.jp